

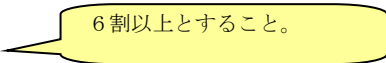
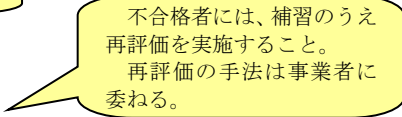
## 修了評価の方法

評価基準作成者：西 真美

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none"><li>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) こととからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li><li>2 出題形式 四肢択一形式とする。</li><li>3 出題数 択一問題 30 問 (配点 30 点) 全問正解：30 点満点</li><li>4 合否判定基準 18 点以上とする。</li><li>5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none"><li>・結果発表後、直ちに補習のうえ再評価を行う。</li></ul>修了評価筆記試験不合格時の取扱い： 講師による補習のうえ、修了評価当日に再試験を実施する。 (補習費用：2,500 円、再評価費用：2,500 円) なお、再評価に係る合格基準は 18 点以上とする。 ただし、再評価の試験の回数は最大 2 回までとする</li></ol>
------------	---

## 修了評価の方法

評価基準作成者： \_\_\_\_\_

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li><li>〇〇テキスト〇ページから〇ページまでの間で出題する。 等々</li></ul> <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式及び記述形式とする。 等々</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>択一問題〇問（配点〇点）、記述式問題〇問（配点〇点） 全問正解：〇点満点</li><li>「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から〇問 等々</li></ul> <p>4 合否判定基準</p> <p>〇点以上 </p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"><li>結果発表後、直ちに〇時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は〇点以上とする。 補習料：1時間あたり〇円 再評価料〇円</li><li>再試験を最大〇回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には・・・ 再試験料：1回あたり〇円</li><li>不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い・・・ 等々</li></ul> 
------------	---